

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは4号館		
○保護者評価実施期間	令和7年2月8日		令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85	(回答者数) 85
○従業者評価実施期間	令和7年2月8日		令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士をはじめ作業療法士・理学療法士・保育士と他職種がおり総合的な支援を行っている。	言葉の発達を支援する療育を中心に行っているのが、身体の発達も欠かせない要因である事から総合的な支援が行える様に情報共有を行い日々対応している。	職員間の共有を密に図る事ができる様に発言しやすい環境作り。 多角的な支援を行う事ができる様に担当する児童を固定せず全ての職員にて支援を行う。
2	職員を多く配置する事で児童に寄り添った支援を行うことができる。	言語聴覚士や保育士等経験豊富な職員を配置し、相互に連携し児童が成長できる環境を心がけている。	活動プログラムも子ども達が自己決定できる様勉強会を行い支援の拡充を図っていきたい。
3	法人内にて姉妹教室を多数運営しており、困り感等を共有しながら子ども達への支援につなげる事ができる。	毎月2回、各教室とオンラインにて情報共有会や勉強会を開催し支援や職員の質向上に努めている。	オンラインでの情報共有会のみではなく、交換留学を行い法人全体の支援向上に努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育園や学童クラブとの交流が少ない。	言葉でのコミュニケーションが苦手な児童が多い為、交流会等の行事へ参加が難しい。	近隣の公園にて活動を行う際には、地域児童と交流ができる様支援を心がけている。
2	研修時間の確保や個人業務の確保が難しい部分がある。	午前・午後ともに利用児童が居るため記録等の時間確保が難しい部分があり、個人や全体での研修が難しい。	職員間にて交代で記録を行ったりする等の工夫を行っている。
3	保護者会の開催ができていない。	建物の構造上や駐車場の確保が難しい。	公民館などの施設を借用し家族会開催を検討していきたい。